

議案第41号

いしかわ歴史遺産の認定について

1 提案理由

今年度、新たに創設した「いしかわ歴史遺産」の認定を行うため

2 根拠法令

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条

3 内容

次頁のとおり

いしかわ歴史遺産の認定について

1 概要

「いしかわ歴史遺産」は、全国に本県の魅力を発信し、観光誘客や地域活性化を図ることを目的としたもので、世代を超えて受け継がれている歴史、伝承、風習や有形・無形の文化財をそれぞれ関連づけ、その魅力をわかりやすく説明したストーリーを認定するもので、県が今年度新たに創設した制度である。

なお、認定は2020年までに20件程度を予定している。

2 これまでの経緯

7月末～8月末	市町から認定申請を受付 11市町から16件の申請
9月～10月	市町からのヒアリング及び現地調査
11月26日(木)	いしかわ歴史遺産認定審査委員会にて認定候補の選定

3 認定候補(案)

金 沢 市	三つの寺院群と茶屋街 ～歩く・観る・祈る～
七 尾 市	七尾城が語る「能登の戦国都市物語」
小 松 市	平安の世の歴史物語が息づく歌舞伎のまち・小松
輪 島 市	平家の末裔 時国氏の繁栄
羽 取 市	^{よりがみ} 「漂着神」の聖地
富 山 県	～日本海交流が伝える祈りと祭りの文化財めぐり～

4 認定日

認定証交付の日

いしかわ歴史遺産の認定について

三つの寺院群と茶屋街 ～歩く・観る・祈る～（金沢市）

- ・城下を取り囲んだ三つの寺院群と、寺院群に近接した三つの茶屋街に関するストーリー
- ・三つの寺院群を散策し、茶屋街では伝統芸能などを楽しむことができる
(卯辰山麓重伝建、寺町重伝建、東山ひがし重伝建、主計町重伝建、にし茶屋街 など)

七尾城が語る「能登の戦国都市物語」（七尾市）

- ・国内屈指の山城であり、七尾の地名の由来ともなった七尾城を巡るストーリー。
- ・畠山文化や長谷川等伯もストーリーに含めている
(七尾城跡、^{はたけやまよしゆき}畠山義総書状、^{かいこかん}懐古館、^{あたごこんげんず}愛宕権現宮 など)

平安の世の歴史物語が息づく歌舞伎のまち・小松（小松市）

- ・歌舞伎「勸進帳」、の舞台となった「安宅の関」やお旅まつり、曳山子供歌舞伎を受け継ぐ小松を「歌舞伎のまち」とするストーリー
(安宅の関跡、那谷寺本堂、子供歌舞伎「勸進帳」、^{ただ}多太神社所蔵の兜、^{そで すねあて}袖、臍当 など)

平家の末裔 時国氏の繁栄（輪島市）

- ・平清盛の側近として活躍した権大納言平時忠が能登に配流された後、その子孫が豪農として繁栄する。能登平家の末裔である「上時国家」、「時国家」両家をテーマとしたストーリー
(上時国家住宅及び庭園、時国家住宅及び庭園、曾々木海岸など)

^{よりがみ}「漂着神」の聖地 ～日本海交流が伝える祈りと祭りの文化財めぐり～（羽咋市、志賀町、宝達志水町）

- ・口能登の沿岸地域の日本海交流が、多様な信仰文化も受け入れたとするストーリー
- ・気多大社、寺家遺跡、妙成寺など各地に点在する漂着伝承を「漂着神(ヨリガミ)」たちの足あとと位置付ける
(^{たかつめ}高爪神社のタブノキ、気多大社、妙成寺、^{よっさき}吉崎・^{すば}次場遺跡、鶺鴒祭り など)